

懐かしゲーム機 世界進出

大正区の販売会社

修理され、フランスへの輸出を待つゲーム機



インベーダーなど年間1000台再生

大阪市大正区の倉庫に並べられた懐かしいゲーム機。1970年代後半から90年代にかけて若者たちを熱中させたインベーダーゲームやコインゲームなど数万台。修理され、新品同様の姿で再起動を待つ。

同区のゲーム機販売会社「ユ・エス産業」は、年間約1000台の中古ゲーム機を再生させている。修理部品数万点を用意し、一から作り直す事も。森莞爾社長(67)は「日本のゲーム機は、頑丈で作りが細かく海外での人気は高い」と胸を張る。

(写真部 尾崎孝)



爆発的な人気を誇ったインベーダーゲーム。海外で人気となる日を待つ(大阪市大正区)



修理される大型コインゲーム。精巧な恐竜は海外でも人気